



TOP

開催概要

プログラム

参加申込

アクセス



『日本GAP規範と農業評価制度』  
—GAP教育システム—

## Information

2011/10/25

「2011年秋期GAPシンポジウム」は終了いたしました。たくさんのご来場をいただき、誠にありがとうございました。詳しい報告は、[普及ニュース第23号](#)をご覧ください。

2011/08/04

[プログラムを更新いたしました。](#)



開催：2011年10月24日(月)～25日(火)  
会場：東京大学弥生講堂（東京大学農学部内）  
主催：一般社団法人 日本生産者GAP協会  
農業情報学会



大会事務局  
〒305-0035 茨城県つくば市松代4-9-26-203  
tel:029-861-4900 fax:029-856-0024  
emai:mj@fagap.or.jp 担当:山藤(さんとう)



TOP

開催概要

プログラム

参加申込

アクセス

## ■開催概要

第23回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会  
2011年秋期GAPシンポジウム

『適正農業規範は良い農業への道しるべ』  
『日本GAP規範と農場評価制度』  
—GAP教育システム—

期 日	2011年10月24日(月)～25日(火)
会 場	東京大学弥生講堂(東京大学農学部内) <a href="#">HP</a> 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 TEL: 03-5841-8205
名 称	2011年秋期 GAPシンポジウム
テ ー マ	『適正農業規範は良い農業への道しるべ』 『日本GAP規範と農場評価制度』 —GAP教育システム—
主 催	<a href="#">一般社団法人 日本生産者GAP協会</a> / <a href="#">農業情報学会</a>
共 催	<a href="#">東京大学大学院農学生命科学研究科 生態調和農学機構(予定)</a> / <a href="#">財AGIC</a>
事務局	一般社団法人日本生産者GAP協会 教育・広報委員会 / 財AGICシンポジウム事務局
来場対象	農業試験研究者、農業普及関係者、大学・大学校、農業高校、農業生産者、農業法人、農協、出荷組合、産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業、外食企業、消費者、調査・研究機関、その他
参加費	(資料代) <<主催、共催団体の会員>> ¥10,000 <<一般>> ¥15,000 <<学生>> 受講無料(資料有料)

## ■シンポジウムの狙い

前回の春期シンポジウムは、東日本大震災により中止することになりましたが、半年遅れで同様の内容で秋期シンポジウムとして開催することになりました。

今回のシンポジウムでは、去る5月に出版しました「日本GAP規範ver.1.0」の内容について、農場の管理者、農業現場の生産者がどの程度意識し、GAPを何処まで遵守しているかについて、個々の農場や農家グループ等の実施レベルを評価するシステムとして、新しい「農場評価制度」を提案します。この「農場評価制度」では、それぞれの地域の産地や生産者が、「環境と人に優しい農業」を実践することにより、安全性が高く品質の良い農産物を生産する「持続的農業生産」を、どの程度まで達成しているかを評価し、お示し致します。

GAP(適正農業管理)とは、「正しい農業を行っている」という意味です。その「正しい」という根拠は、農場の管理者、農業現場の生産者が「日本GAP規範」を遵守しているかどうかによります。日本には、政府による直接支払い(補助金)のための環境配慮要件(クロスコンプライアンス)もなく、GAPがスーパーマーケットの仕入条件にもなっていませんが、主に生活者の求める食品安全と環境保全に配慮した行政施策等により、「生産農家はGAPでなければならない」という要望が強くなってきています。

そこで、日本生産者GAP協会では、「日本GAP規範ver.1.0」に基づく「農場評価制度」を新しい考え方で構築することにしました。この「農場評価制度」では、それぞれの生産組織や農場等におけるGAPの実践について、「日本GAP規範」に基づく達成レベルを評価し、生産者の立場に立って「何処が問題なのか」、「なぜ問

題なのか」、「その根拠は何か」、「改善のためにはどうすれば良いのか」などを明示し、農業経営や生産技術の改善指針等を提供します。

この農場評価によって、農場や農業組織自身が、GAPの必要性やGAPの意味や内容について良く理解し、全ての農場や農業組織等が自らGAPを実践することに努めるようになることを目指します。また、この「農場評価制度」は、環境問題や食の安全問題などについて関心を持つ消費者に対して、環境と人に優しい農業実践により安全で品質の良い農産物を持続的に生産している農家や農業組織、産地等についての情報を提供するための評価システムです。



TOP

開催概要

プログラム

参加申込

アクセス

## ■開催概要

第23回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会  
2011年秋期GAPシンポジウム

『適正農業規範は良い農業への道しるべ』  
『日本GAP規範と農場評価制度』  
—GAP教育システム—

期 日	2011年10月24日(月)～25日(火)
会 場	東京大学弥生講堂(東京大学農学部内) <a href="#">HP</a> 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 TEL: 03-5841-8205
名 称	2011年秋期 GAPシンポジウム
テ ー マ	『適正農業規範は良い農業への道しるべ』 『日本GAP規範と農場評価制度』 —GAP教育システム—
主 催	<a href="#">一般社団法人 日本生産者GAP協会</a> / <a href="#">農業情報学会</a>
共 催	<a href="#">東京大学大学院農学生命科学研究科 生態調和農学機構(予定)</a> / <a href="#">㈱AGIC</a>
事 務 局	一般社団法人日本生産者GAP協会 教育・広報委員会 / ㈱AGICシンポジウム事務局
来場対象	農業試験研究者、農業普及関係者、大学・大学校、農業高校、農業生産者、農業法人、農協、出荷組合、産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業、外食企業、消費者、調査・研究機関、その他
参加費	(資料代) <<主催、共催団体の会員>> ¥10,000 <<一般>> ¥15,000 <<学生>> 受講無料(資料有料)

## ■シンポジウムの狙い

前回の春期シンポジウムは、東日本大震災により中止することになりましたが、半年遅れで同様の内容で秋期シンポジウムとして開催することになりました。

今回のシンポジウムでは、去る5月に出版しました「日本GAP規範ver.1.0」の内容について、農場の管理者、農業現場の生産者がどの程度意識し、GAPを何処まで遵守しているかについて、個々の農場や農家グループ等の実施レベルを評価するシステムとして、新しい「農場評価制度」を提案します。この「農場評価制度」では、それぞれの地域の産地や生産者が、「環境と人に優しい農業」を実践することにより、安全性が高く品質の良い農産物を生産する「持続的農業生産」を、どの程度まで達成しているかを評価し、お示し致します。

GAP(適正農業管理)とは、「正しい農業を行っている」という意味です。その「正しい」という根拠は、農場の管理者、農業現場の生産者が「日本GAP規範」を遵守しているかどうかによります。日本には、政府による直接支払い(補助金)のための環境配慮要件(クロスコンプライアンス)もなく、GAPがスーパーマーケットの仕入条件にもなっていませんが、主に生活者の求める食品安全と環境保全に配慮した行政施策等により、「生産農家はGAPでなければならない」という要望が強くなってきています。

そこで、日本生産者GAP協会では、「日本GAP規範ver.1.0」に基づく「農場評価制度」を新しい考え方で構築することにしました。この「農場評価制度」では、それぞれの生産組織や農場等におけるGAPの実践について、「日本GAP規範」に基づく達成レベルを評価し、生産者の立場に立って「何処が問題なのか」、「なぜ問

題なのか」、「その根拠は何か」、「改善のためにはどうすれば良いのか」などを明示し、農業経営や生産技術の改善指針等を提供します。

この農場評価によって、農場や農業組織自身が、GAPの必要性やGAPの意味や内容について良く理解し、全ての農場や農業組織等が自らGAPを実践することに努めるようになることを目指します。また、この「農場評価制度」は、環境問題や食の安全問題などについて関心を持つ消費者に対して、環境と人に優しい農業実践により安全で品質の良い農産物を持続的に生産している農家や農業組織、産地等についての情報を提供するための評価システムです。



TOP

開催概要

プログラム

参加申込

アクセス

主催:一般社団法人日本生産者GAP協会、農業情報学会  
共催:東京大学大学院農学生命科学研究科 生態調和農学機構  
株式会社AGIC、他

第23回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会  
2011年秋期GAPシンポジウム

## 『適正農業規範は良い農業への道しるべ』 『日本GAP規範と農業評価制度』 —GAP教育システム—

### ■プログラム:10月24日(月)

- 12:00～ 受付
- 13:00～13:15 開会(総合司会:石谷孝佑 日本生産者GAP協会 常務理事)
- 主催者挨拶** 二宮正士 日本生産者GAP協会 常務理事  
農業情報学会副会長  
東京大学教授・生態調和農学副機構長
- 13:15～14:00
- 基調講演** 『適正農業規範は日本農業の道しるべ』  
山田正美 日本生産者GAP協会規範委員長  
福井県農業再生協議会事務局長  
\*日本適正農業規範(日本版Code of GAP)の内容と位置づけ  
\*日本生産者GAP協会が提案する意味と地域での活用  
\*イギリスのGAP現状に学ぶ日本特有のGAP規範
- 14:00～14:30
- 講演** 『「栃木県GAP規範」に基づく新たなGAP推進』  
高崎 正 栃木県農政部経営技術課環境保全型農業担当  
\*日本GAP規範をベースにした県版GAP規範の構築  
\*産地のGAPの精度向上運動と「良い農業を実践するための心得」の活用
- 14:30～15:00
- 講演** 『富山県適正農業規範に基づく農業推進条例』  
作井英人 富山県農林水産部農業技術課長  
\*日本で最初のGAP条令の制定とGAP規範策定について  
\*GAPと地域農業の振興について
- 15:00～15:15 <休憩>
- 15:15～16:00
- 講演** 『新しい評価基準「日本GAP規範農場評価制度」の概要』  
田上隆一 日本生産者GAP協会理事長、農業情報学会副会長  
\*良い農家を選択(=悪い農家の排他)するGAP審査からの脱却  
\*日本のすべての農家がGAPでなければならない
- 16:00～17:00
- 総合討論** 『地域農業振興と日本GAP規範の活用』  
山田正美、高崎 正、作井英人、田上隆一(司会)
- 17:15～
- 情報交換会** 『都道府県・地域のGAP取組みの情報交換会』会費¥3,000

### ■プログラム:10月25日(火)

- 08:10～ 受付

09:00～10:30

**記念講演**

『食料生産の価値の総合評価』

**鈴木宜弘** 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

\*価格に反映されない農業の価値と農業補助金のあり方

\*地域や消費者が動くシステムづくり

10:30～10:45

<休憩>

10:45～12:00

**講演**

『日本のGAP推進と指導者養成』

**田上隆一** 日本生産者GAP協会理事長、農業情報学会副会長

12:00～13:00

<<昼食>>

13:00～13:45

**講演**

『日本GAP規範農場評価制度の実証について』

**田上隆多** 株式会社AGICGAP普及部長

13:45～15:15

**事例報告**

「日本GAP規範農場評価制度の実証結果報告」

**栃木県** (栃木県開拓農協)

**岐阜県** (JAひだ丹生川GAPトマト部会)

**広島県** (JA広島芸北トマト部会)

**山形県** (JA金山酒米研究会)

15:15～16:00

**総合討論**

『農場評価の位置づけと方法』

**事例発表者、(司会)石谷孝佑** 日本生産者GAP協会 常務理事

---

※ 講演内容、時間は進行上の都合により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。(敬称略)